

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針（案）

通しNo.	発言	該当箇所	委員名	委員意見	分類	市の考え方・対応方針（案）	担当所管	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ
1	意見書①	まちづくりの目標：生活	有賀	目標達成率を表示するのであれば、3年間の総括文章ということであるが、もう少し達成率に対する具体的な表現がほしいと感じる	意見	御意見を踏まえ総括の修正を行いました。	企画政策課	○	-	P2,3
2	意見書①	まちづくりの目標：全般	有賀	第6次の総括同様、総盤に今後の見通しや方向性に触れる必要はないか	意見	御意見を踏まえ総括の修正を行いました。	企画政策課	○	-	P2,3
3	意見書①	まちづくりの目標：全般	内山	総括として、達成に至らなかった点への分析もあるとよいと考えます。	意見	御意見を踏まえ総括の修正を行いました。	企画政策課	○	-	P2,3
4	意見書①	重点：全般	渡辺（5）	2030年の目標とそのKPIの達成に向けて、具体的なアクションがどうつながるのか、その論理的な整合性や合理性が分かりにくいものが多いように感じます。次期計画においては、ロジックモデルで整理をするなどによりその合理性を整理し、納得感を得られるものにしていただきたいと考えます。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。	企画政策課	-	○	P92
5	意見書①	重点1：医療・福祉 （2）地域共生社会の実現	有賀	昨年度の総計審意見で小田原市の「地域のケア力」の検討とあるが、目標達成率の評価にある認知度の向上・関心を持つようにすることは、ケア力の高い社会を目指すのは難しいと感じる。	意見	「地域のケア力」は、地域住民の誰もがケアの課題を我が事として捉え、それぞれが主体的に取り組む地域づくりを目指すものです。民生委員児童委員の活動支援のほか、自治会や地区社会福祉協議会、ボランティア団体等の地域の多様な主体による実践的な支え合いの活動を促進・支援する取組についても併せて記述します。また、ケアタウンの補強と再整備の取組として今後の方針を定めていきます。	福祉政策課	○	○	P8
6	意見書①	重点2：防災・減災	渡辺（5）	KPIの数値が年々下がってきていることを疑問に思いますが、その後の具体的なアクションを読んで、KPIの数値の推移がなぜそうなっているのか等の分析が記載されていないため、この数値目標の推移をどう理解してよいのかわかりません。備考欄に記載するなど、評価を読む人にもわかるようにしていただきたいです。	意見	防災意識については、災害発生頻度、訓練への関心、日常生活での優先度、将来リスクへの考え方、情報の複雑さ、情報過多等、様々な要因が考えられるため、行政の取り組みに寄らない影響があります。	防災対策課	-	○	P10
7	意見書①	重点3：教育・子育て （1）質の高い学校教育	有賀	「新しい学校づくり推進基本計画」が当初の策定期から1年程度遅れる見通しとなった経緯を教えてください。	質問	地域の学校配置を示す「新しい学校づくり推進基本計画」について、検討・調整に時間を要したため、当初予定から1年遅れ、令和7年度未策定予定としました。	教育総務課	-	-	-
8	意見書①	重点3：教育・子育て （1）質の高い学校教育	内山	具体的なアクション②について、ICT活用教育の充実がKPI指標あるいは「質の高い学校教育」にどのようにつながったかが目標達成率の評価に記載される必要があると考えます。具体的には、どのような教育活動なされたのか、先進事例（重点校や研究指定校）などを記載できると、ICT環境の整備による教育の充実度が伝わるのではないのでしょうか。	意見	ICT活用教育の充実、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るための手段の一つとして寄与したと捉えています。ICTの活用は、視覚的な効果で学習の内容の理解を深めたり、即時に友達や先生との考えを比較して自分の考えを練り上げたりすることができ、学校教育の質の向上につながったと考えています。	教育総務課	-	-	-
9	意見書①	重点3：教育・子育て （1）質の高い学校教育	内山	第7次総合計画の実行計画に向けてKPIも改めて見直しでもよいと考えます。社会力の育成に関連する指標とすることが考えられます。継続して、全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っている」を使用する場合には、KPI名も「将来の夢や目標をもつ児童の割合」と記載していただきたいです。他に、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う」や、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」といった指標も使用できそうです。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（施策関係）	教育総務課	-	○	P13
10	意見書①	重点3：教育・子育て （2）子ども・子育て支援	内山	ニーズ調査が5年ごとのため、施策の効果が確認しにくいように感じました。目標達成率の評価において、個別の事業などにおけるアンケート結果など、参照できる数値があれば記載していただくと良いのではないのでしょうか。	意見	重点施策3教育・子育て（2）子ども子育て支援具体のアクションの①切れる目のない子育て支援の充実の目標達成率の評価に、おたわら子ども若者教育支援センターは一月間における児童相談取扱件数を追記しました。	子育て政策課	○	-	P15
11	意見書①	重点7：まちづくり （1）小田原駅・小田原城 周辺のまちづくり	有賀	「市民会館跡地等活用整備基本構想」を策定し、市民会館跡地でのオープントライアルの開始は、今後のまちなかにぎわい創出に寄与し、期待できるのではないかと。	意見	オープントライアルは、本整備に向けた基本計画等に反映するため、実際に暫定活用することで周辺エリアに与える効果と近隣住民等に及ぼす影響を把握・検証するものです。なお、オープントライアルの結果等を踏まえた整備・供用開始後には、市民会館跡地を起点とするまちなかへの来訪や回遊の創出、まちなか全体のにぎわい創出への寄与が期待できるものと考えています。	政策調整課	-	○	P28
12	意見書①	施策1：地域福祉・多様性の尊重 詳細施策2	有賀	民生委員児童委員の新たな担い手の育成については庁内関係各課と連携しながら進めていくとあるが、もう少し詳細な説明がほしい。本格的な負担軽減・効率化を図りたいのを知りたい。	意見	担い手育成については、民生委員活動に興味を持ってもらうため、機会を捉えパネル展やPR動画放映等を行っているほか、おたわら市民学校や大学等での地域福祉に関する講義を通じて民生委員活動を紹介します。また、民生委員の推薦要件（年齢等）の見直しを図るなどの改善を行いました。負担軽減・効率化については、民生委員児童委員に対する市の依頼事項を精査するとともに、毎年配布している各種名簿の統合を図っています。	福祉政策課	-	-	-
13	意見書①	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策1	内山	総合評価はじとなっていますが、今後の方向性が現状維持的な記載となっているため、目標達成のための新たな施策など具体的な手立てを講じていく必要があると。ファミリー・サポート・センターの支援会員数の増加も重要ですが、稼働率や利用者の満足度なども重要な指標と考えます。調査結果があれば記載していただくとよいと思います。	意見	施策10子ども・子育て支援 詳細施策1子育て支援の充実の3年間総合評価に、令和6年度に実施したアンケート調査における会員の満足度を追記しました。	子育て政策課	○	○	P52,54
14	意見書①	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策1	渡辺（5）	【3年間の総合評価】支援会員数は、基準のR3(345人)から、更新を挟み大きく減少した後、微増ながらも横ばいのように思われます。ファミサポ大学など特設的な取組みなどは思いますが、3年間の総合評価は継続的にあり、根本的な見直しも必要ではないのでしょうか。例えば支援会員の報酬が安すぎる（平塚市の半額）ことなども会員数が増えない要因になっている可能性はないか等、制度を根本的に見直す必要性などについても課題として挙げる必要があるように思われます。	意見	本市における平日7時から19時までの利用料金は、30分350円に設定しております。平塚市は同一の時間帯で1時間700円に設定しており、近隣市も概ね同程度の料金を設定しています。利用料金の増額により、支援会員の報酬が増える一方、依頼会員の負担増加につながることから、双方の声を把握しながら、他市の状況も踏まえて捉え直しているものです。引き続き、事業者と連携しながら、支援会員数の増加に向けて取り組んでまいります。	子育て政策課	-	○	P52,54
15	意見書①	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策2	内山	保育児童数、待機児童数が目標に到達していない背景に、保育士不足による受け入れ体制が確保できていないことがあると記載されており、第7次総合計画の実行計画では改善をはかるように取り組んでいただきたいと思います。	意見	保育士確保に向け、市内保育団体との協働による、保育士を目指す学生等へ向けた就職相談会を開催するなど、就職促進支援や、保育士の負担軽減を図り、保育に専念できる環境づくりを進めてまいります。	保育課	-	○	P54
16	意見書①	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策4	渡辺（5）	【3年間の総合評価、今後の方向性】R5においては周知方法の改善で参加者が増加した一方、R6は同様の周知を行ったはずなのに参加者が大きく減ったというのであれば、その周知方法の課題についても検討が必要に思われます。R6における内容見直しで参加者満足が増えたのは評価すべきことだと思いますが、参加者が減ったことが、本評価においては、参加者満足やそもそも目標値が高すぎたことなどで置き換えられるように感じられます。単純に参加者が多ければいいというものではないのはおっしゃる通りと思いますが、事業効果を確保するには、一定の参加者数を増やす努力も引き続き必要だと思います。	意見	令和6年度につきましては、行政と実行委員会との会議の場等において、過去の実施のふりかえりや意見交換を行い、子どもを見守る大人の適正な人数や宿泊先の収容能力などを議論し、結果、事業の充実化に重点を置き、事業実施に適した参加者募集を行いました。また、当初の目標値自体が、令和3年度までの前事業における参加者数を参考に設定したものであり、設定自体に課題があることなどから、上記事情を含め、第7次総合計画第1期実行計画では、事業内容や中身など取組の本質に着目した目標値とさせていただきます。	青少年課	-	-	-

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針（案）

通しNo.	発言	該当箇所	委員名	委員意見	分類	市の考え方・対応方針（案）	担当所管	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ
17	意見書③ 施策11：教育 詳細施策1	内山		総合評価がCとなっており、ステップアップ調査の結果を活用し、基礎学力の向上に期待する。それがあって、STEAM教育など創造性や社会力をはぐくむ教育がより成果をあげることができる。第7次総合計画の実行計画では、教員の学習指導、授業改善をどのように支援していくか具体策も提示いただけたらとよいと考えます。	意見	令和7年度のステップアップ調査結果活用研修を、全小中学校で行います。本研修は指導主事が学校へ赴き、昨年度からの学力の伸びにつながった実践の共有や伸び悩んでいる児童生徒への個別の学び方を生かした支援の検討などを行う予定です。これらが教員の指導改善や個に寄り添った指導につながり、児童生徒の学力の向上へもつながると考えています。	教育指導課	-	○	P56
18	意見書③ 施策11：教育 詳細施策2	有賀		放課後児童クラブ室及び放課後子ども教室の場所の確保が課題となっているが、今年度放課後子ども教室に希望しても参加できない児童が見受けられた。毎年参加を楽しみにしている児童も多い中、先着順で切れてしまうのはどうか。	意見	事業運営への御意見として参考にさせていただきます。	教育総務課	-	○	P56
19	意見書③ 施策11：教育 詳細施策2	内山		目標値に関する記述にあるように、地域とともにある学校づくりのKPIとして、「放課後児童クラブを楽しんでいる児童の割合」と狭い指標の設定になっている点は見直しが必要と考えます。中心的事業である学校運営協議会制度の状況や効果などについて調査し、目標値とすることも考えられます。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（施策関係）	教育総務課	-	○	P56
20	意見書③ 施策11：教育 詳細施策2	内山		引き続き、放課後児童クラブ、放課後子ども教室事業のサービス向上は重要です。施設によりばらつきが大きいなどもよく聴かれます。居住地等によって利用できる施設は限られるため、施設および指導員・支援員の確保とともにサービスの質の向上も推進していただきたいです。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（施策関係）	教育総務課	-	○	P56
21	意見書③ 施策11：教育 詳細施策3	渡辺(5)		総合評価において、相談件数が多い＝困難を抱える児童生徒が多い＝保護者の悩みも多い＝相談への対応が重要＝多くの相談を受けたことが評価に値する、とされています。これは原因と結果が循環しており、何を言いたいのかわかりにくいように思っています。悩みを抱える保護者が増えているのであれば、その相談の質や、悩みはあってもまだ相談できていない保護者がいかに相談・支援につなげるかといった目線での総括もしていただきたいと感じます。	意見	多くの相談に対応することができたことは評価できると考えていますが、ご意見を踏まえ、第7次総合計画第1期実行計画の指標設定への御意見として参考にさせていただきます。	教育総務課	-	○	P56
22	意見書③ 施策18：文化・スポーツ・ 生涯学習 詳細施策5	有賀		キャンパスおだわら講座受講者が目標値を大きく上回り、コロナ以前の水準まで回復していくことが見込まれる現状は大いに評価できると感じる。受講者の年齢層がわかるとありがたい、若い世代の増加に期待したい。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（施策関係）	生涯学習課	-	○	P71
23	意見書③ 施策20：自然共生・環境保 全 詳細施策2	渡辺(5)		【②課題】によれば、本件施策では・水生生物生息環境保護→水質維持・生物多様性→有害鳥獣捕獲の2本の取組みをすることになっていますが、そのKPIが水質調査の数値では、取組みの全体を把握できないように感じます。また、このKPIは基準年に降すべて100%を達成されており、その維持が重要であることはわかりますが、取組みの進展を図るのに妥当かは疑問です。次期計画以降ではぜひKPIそのものを見直しをいただきたいです。	意見	豊かな自然を享受し水生生物の保護を図るという観点から、水質などの環境保全に関する代表的な指標であると考えております。「生物多様性を確保するため外来種や増えすぎた有害鳥獣を駆除する」という観点からKPIを設定する場合、駆除件数（頭数）により進捗を図ることがありますが、捕獲頭数の増減ともに全体の進展を図る指標ではないと考えられます。そのため、第7次総合計画第1期実行計画では見直しを図ります。	環境保護課	-	○	P74
24	意見書③ 施策21：資源循環・衛生美 化 詳細施策2	渡辺(5)		目標進捗状況のグラフについて 下限のメモリが23.5のため、R6が下限以下の状態です。その隣に目標達成率0%と表示されていること相まって、バツと見た目で取組みがなされていないかのような印象を受けます。下限のメモリを23.0又は22.5などにしていたら、R6も棒グラフが揃って見やすくなるように感じました。	意見	ご意見を踏まえ修正いたしました。	企画政策課	○	-	P75
25	意見書③ 施策25：上下水道 詳細施策2	渡辺(5)		令和7年1月埼玉県八潮市の道路陥没事故では、下水道の老朽化問題が関心を集めました。小田原市においても、老朽化対策がどうなっているかは、関心が高い分野と考えます。今後の取組として、財源確保が難しい状況においても、下水道の耐震化に加え老朽化対策も着実に実施されることが求められているものと思いますので、この点についても言及いただきたいと感じました。	意見	下水道施設の老朽化対策として、本市では重要な管渠の地震対策や、重要な管渠以外で標準耐用年数を超過した管渠の長寿命化対策に取り組んでおり、管渠を補強する更生工事や可とう継手の設置などを実施しています。今後も、計画的な点検・調査、改築に取り組んでいく考えであり、「今後の方向性」に、老朽化した下水道施設の地震対策等を進めていく旨を追記します。	経営総務課 下水道整備課	○	-	P84
26	意見書③ 推進エンジン1：行政経営 詳細施策1	有賀		市民との情報共有について、情報発信よりも市民からの意見聴取が困難とされ、今後は個別での対応が必要となると、かなりハードルが高いと感じる。市からの一方的な発信に留まらず、市民の声を速やかに行政に届ける仕組みを機能させたい。	意見	市民からの意見聴取については、だれでも、いつでも、市政に対する提案や意見等を直接述べることができる「市長への提案」制度を実施しており、専用の投稿用紙やホームページの投稿フォームから受け付けています。また、各課のホームページからも要望や問い合わせをすることができます。引き続き、市政情報の発信を行うとともに、広聴事業の周知も図りながら進めていきます。	広報広聴室	-	○	P87
27	意見書③ 推進エンジン2：公民連 携・若者女性活躍 詳細施策2	内山		若者活躍についての施策が中心に記載されており、女性活躍に関する施策の記述が少なく感じます。KPIに関する記述についても、若手交流会の実施件数が女性活躍の指標として適切といえるか少し疑問があります（若手交流会への参加は女性が多いといったことがあるのでしょうか）。通常、女性活躍のKPIとしては、女性の登用や参画に関する指標や、仕事と育児の両立にかかわる指標などが使用されるのが一般的と考えます。	意見	女性活躍に関する取組（人権・男女共同参画課との連携事業）について評価報告書案に追記しました。若者活躍と女性活躍を包含するKPIの設定は難しく、両者を一括りとする合理性を踏まえ、その整理については検討を進めていきたいと考えています。	政策調整課	○	○	P88,89
28	意見書③ 推進エンジン2：公民連 携・若者女性活躍 詳細施策2	渡辺(5)		本件は若者・女性活躍推進を掲げながら、KPIや具体的な取組みは若者の活躍機会の創出に関わるものです。目標値の設定としては適切ではないと感じる一方、昨年評価でも意見を出した通り、そもそも女性活躍と若者活躍はその目的や取り組み内容が異なるものであり、一括りにまとめることには合理性が認められないと考えますので、両者を包含するKPIも難しいものと考えます。次期計画ではぜひ、若者と女性を一括りにする整理を改めていただきたいと考えます。	意見	女性活躍に関する取組（人権・男女共同参画課との連携事業）について評価報告書案に追記しました。若者活躍と女性活躍を包含するKPIの設定は難しく、両者を一括りとする合理性を踏まえ、その整理については検討を進めていきたいと考えています。	政策調整課	○	○	P88,89
29	意見書③ その他	有賀		重点施策における各具体アクションの評価、詳細施策における総合評価をふまえた目標値、課題、今後の方向性の明記により、事業の経緯やポイントが明確になり、今後の実行計画策定につながると感じる。	意見	本評価作業を次期実行計画策定に生かしてまいります。	企画政策課	-	○	P92

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針（案）

通しNo.	発言	該当箇所	委員名	委員意見	分類	市の考え方・対応方針（案）	担当所管	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ
30	意見書②	まちづくりの目標：生活	有賀	「生活の質の向上」であるが、2つ目の文章に「また、子育て家庭が安心して子育てができる環境を地域全体で整えるとともに、子どもが夢や希望を持って成長できるまちを目指します」と掲げられている。 小田原に住み続けたいと思う人の割合は令和7年度も90.0%に達しているが、その理由としては、ここ数年子育て支援充実が1%にも満たず、「子どもが夢や希望を持って成長できるまち」とはかけ離れていると感じる。 総括のところで、令和4～6年度の3年間の総括文章を記載するというのであれば、安心して子育てができる環境や支援についてももう少し具体的に言及できると良い。 学校施設整備計画の進捗率などハード面も必要だが、掲げられている子どもや若者への支援を強化するための体制整備や家庭教育支援の推進などを通し、子育て世代の意識や満足度をどう変容していくのか、今後の方向性なども含め、ソフト面にも触れてほしいと感じる。	意見	御意見を踏まえ総括を修正いたしました。	企画政策課	○	-	P2,3
31	意見書②	その他	有賀	将来都市像の実現に繋がり、市民に対してわかりやすい計画体系とするとあります。4月に郵送いただいた「第7次小田原市総合計画」では重点施策の掲載はなく、まちづくりの目標に準じて全41事業を位置づけ5つの重点事業が掲げられています。これが「市民に対してわかりやすい計画体系とする」とらえてよろしいですか？評価については従来通り「重点施策」（1～7）の評価を行うということではよろしいですね。	質問	資料5では、今後策定する第7次小田原市総合計画第1期実行計画に向けた事務局の考え方を示しており、「市民に対してわかりやすい計画体系」や今後の評価については第3回会議以降に示します。	企画政策課	-	-	-
32	意見書②	その他	久田	■KGI・KPIの基本的な考え方につきまして ●数値に基づく定量的な評価を行うことは、非常に有効と考えます。 ●民間の取り組みでは、まずKGI（最終目標）を明確にした上で、そこに向けた3～5個程度のKPIを設定するケースが一般的です。 ●KGIは、「成果」を測るための数値指標であることが重要です。 ●設定例 ▷目的：地域経済の活性化 ▷KGI：地域内の年間観光消費額を10億円に増加 ▷KPI（途中の評価指標）： ▷月間新規契約件数20件 ▷商談から契約への転換率30% ▷顧客満足度90%以上	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
33	意見書②	その他	久田	■総合計画評価への適用につきまして ●総合計画評価においては、各重点施策における「2030年の目標」がKGIに該当するかと思います。ただし、2030年の目標には抽象的な表現も多く、成果としての数値目標が不明確なものも見られます。 ●KPIは、重点施策に対して1つだけでなく、その下の「具体的なアクション」ごとに設定することで、取り組みの評価がより具体的・実践的になると思われます。 ●現状では、市の多面的な取り組みに対してKPIが1～2項目しか設定されておらず、目標に対する妥当性や因果関係が見えにくくなっているように感じられます。 ●KGI・KPIとして考えられる例（重点施策3教育・子育て(1)質の高い学校教育） ▷KGI（成果目標）：将来の夢を持つ児童生徒の割合xx% ▷KPI（アクションごとの指標）： ▷具体的なアクションの新たな学びの実現：小田原版STEAM教育を年間で実施した中学校数の割合xx% ▷具体的なアクション①ICT活用教育の充実：教員ICT研修受講率xx% ▷具体的なアクション②新しい学校づくりの推進：「新しい学校づくり推進計画」の策定進捗率xx%（整備指針、基本計画等の完成状況を指標化） ●KPIは一度設定して終わりではなく、定期的な見直しによって精度が向上していきます。社会状況や事業の進捗に応じて、柔軟に調整・更新できる運用体制があると良いのではないかと考えます。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
34	意見書②	その他	平井	目標達成率は誤解を招くおそれがあるので、施策・詳細施策で行っているABCDによる総合評価を「目標達成度」として掲示した方がよいのではないかと。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（評価方法関係）	企画政策課	-	○	P92
35	意見書②	重点：全般	平井	重点施策に関しては、具体的なアクションにおける「目標達成率の評価」を「目標達成度の評価」とし、どのような判断でABCDと評価したのかが記載されていれば十分ではないかと。現状の書式は「目標達成率の評価」に記載されている「目標達成率」が、目標とは必ずしもかわりなく、個々の具体的なアクションに関わるものになっており、具体的なアクションにおける「目標達成率の評価」は、個々の具体的なアクションの進捗の説明になっている。このため単純に「目標達成率の評価」を「目標達成度の評価」に置き換えても、目標における「目標達成率(度)」と個々の具体的なアクションの進捗とが必ずしも直結しないため調整が必要と思われる。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（評価方法関係）	企画政策課	-	○	P92
36	意見書②	施策・詳細施策：全般	平井	施策・詳細施策では単純に「目標達成率」欄は削除し「3年間の総合評価」にとどめてよいと考える	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（評価方法関係）	企画政策課	-	○	P92
37	意見書②	その他	曾我	評価について 総計審の意見のまとめ方について ○とりまとめる形で書く ○相反する意見がた時は調整すると回答されましたが、相反する意見こそ委員相互で討議し、それを調整して提示されるのが良いと考えます	意見	第6次総合計画評価では、御意見のとおり委員間討議にて御意見を取りまとめる予定です。	企画政策課	-	-	-
38	意見書②	その他	曾我	算定式について 資料5として示したいに賛成です	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針（案）

通し№	発言	該当箇所	委員名	委員意見	分類	市の考え方・対応方針（案）	担当所管	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ
39	意見書②	その他	曾我	KPIについて 目標達成率を可視化することは施策との因果関係から、進捗状況を評価するのに重要などところだと思います そこで、KPIを設定するための数値の捉え方や出し方が所管によってブレがないように再確認、調整をされたいと思います	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。 (指標関係)	企画政策課	-	○	P93
40	意見書②	その他	曾我	PDCAサイクルについて サイクルですから、アクションの結果から状況に合わせ柔軟性をもって第7次に向けて総計審で話し合いを積み重ねていくことが大事だと思います	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。 (評価方法関係)	企画政策課	-	○	P92
41	意見書②	重点3：教育・子育て (1) 質の高い学校教育	曾我	重点施策について 【重点3】 小中学校にICT環境の充実、ここ数年、整備が進んでいると思います 研修やICT支援員の派遣など力を入れていることがわかります デジタルネイティブである子ども達の求めるニーズに応えるには、教員自身の意識改革や学校間の格差などに、さらに、取り組まれるとよいと思います カバナンスの問題も、再確認する必要があると思います (授業で役立てたいとしても、スマートフォンなど教員個人の端末の取り扱いなど)	意見	事業運営への御意見として参考にさせていただきます。	教育総務課	-	○	P13
42	意見書②	施策7：防災・減災 詳細施策3	曾我	【施策7】 防災訓練への参加者の減少ですが、広報活動での周知不足があげられていましたが、昨年のいっせい防災訓練は、11月2日土曜日でしたが、ここ数年の酷暑で市内の小中学校の運動会が10月19日、26日土曜日でした 2週連続では若年壮年層の参加は期待できないのではないかと思います 時期も評価の視点に入れてはどうでしょうか	意見	いっせい総合防災訓練の開催時期は、自治会総連合と学校にご意見を伺い、他のイベント等と重複しないように調整した経緯があります。 そのため、開催時期を動かすことは難しく、開催時期を更に後半にすることは気温低下により更なる参加者の減少を招くと考えています。	防災対策課	-	-	-
43	意見書②	施策12：働く場・働き方 施策14：農林業	曾我	【施策12】 【施策14】 創業支援、新規就農者など、産業政策課や農政課、各団体、機関など中心に色々な取り組みをされており、目標達成値や総合評価の文章からもわかります 単純な疑問なのですが、定着率については、どこかで触れなくてもよいのでしょうか	意見	創業支援の、起業者の定着率を数字で示すことは難しい状況ではありますが、起業スクール等で創業支援を行う商工会議所などは、過去に創業した者に対し、必要に応じた支援を（商工会議所では、起業スクールの卒業生など、過去起業した方が年間20人程の相談に訪れると聞いています。）行い、今後も、起業者のフォローアップや、事業承継と一体に捉えた創業支援に取り組んでまいります。 就農に関しては、担い手不足に対応するため、農業従事者の確保を目的とした新規就農者の育成事業を行っています。農業は若い世代にとっても必ずしも人気のある職業ではないため、まずは就農に興味を持ってもらい、その第一歩を踏み出してもらうことが重要だと考えています。新規就農に係る補助金を受け取る場合には、就農を継続する年数を設定するなど、制度上の規定はありますが、新規就農者が個々の事情により離農せざるを得ない場合もあるため、定着率を定めることは難しいと考えています。	産業政策課 農政課	-	-	-
44	意見書②	その他	曾我	成果と課題から、評価実施による全庁的な事務量の増加 その通りだと思います 各所管の職員の皆さんが疲弊しないように考えることも、急務ですな	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。 (評価方法関係)	企画政策課	-	○	P93
45	意見書②	まちづくりの目標：生活	宮本	「小田原に住み続けたいと思う人の割合」が伸びないのは、様々な取組が行われているにもかかわらず生活の質は変わらないと感じているのか、取組自体を市民があまり知らないのか、本来は分析する必要があると思いますが、9割近くが住み続けたいとしている（3年間の実績は誤差の範囲）ので、これを「是」と評価し、次期計画につなげていけばよいと思います。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。 (指標関係)	企画政策課	-	○	P3
46	意見書②	まちづくりの目標：環境	宮本	二酸化炭素排出量の削減率50%はオールジャパンの目標で、簡単にえられるものではないと思うので、小田原市が脱炭素先行地域であることを踏まえて、他の地域よりも何が先行しているのか、何を強化すべきなのかを明確にして、次期計画につなげていけばよいと思います。	意見	次期計画においては、普及啓発や設備導入補助等の普遍的・継続的に実施する取組と本市の強みとも言える脱炭素先行地域づくり事業等の地域脱炭素の取組を体系的に区分することを検討します。	ゼロカーボン推進課	-	○	P3
47	意見書②	その他	宮本	次期計画での評価方法に関する事務局の考え方について ○ 考え方に特段意見はありません。 基本構想に掲げる5つの目標に近づいているかがわかりやすい事業や施策をぶらさげることになるとは思いますが、第6次計画のように、多くの詳細施策ごとの目標達成率を示すと、達成率と評価に乖離が生じることが想定され、目標に近づいているのかわかりづらくなるので、整理したほうがよいと思います。 ○ 目標達成率について、個別計画では、基準値をベースに目標値までの達成率を進捗状況として把握するケースはあると思いますが、総合計画なので、目標値に対する実績を達成率として進捗管理していけばよいのではないのでしょうか。（評価のバランスの観点から）	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。 (評価方法関係)	企画政策課	-	○	P92
48	第1回会議	その他	別所	前回の総合計画審議会から出された意見が、どのように反映されているのかという部分が非常に読みづらいと感じます。せっかく審議会で出した意見ですので、それが今回どのように反映されているのかについて、もう少しご説明や、記述を追記していただければよいのではないのでしょうか。	意見	御意見を踏まえ、資料3にて整理いたしました。	企画政策課	-	-	-
49	第1回会議	まちづくりの目標：全般	別所	例えばまちづくり目標の評価の総括の部分ですが、後ろの方の特別の重点施策を抽出し、総括部分を書かれていると思います。その総括部分の書き方については、KPIを設定しているの、そのKPIのインパクトが少しわかる形で総括をしていただければよいのではないのでしょうか。	意見	御意見を踏まえ総括の修正を行いました。	企画政策課	○	-	P2,3
50	第1回会議	その他	奥	今回の総合計画の評価の進め方についても今後改めて考える必要があるかと思えます。資料全体をしっかりと確認して意見を出すのが理想ではありますが、十分な時間が取れず、その間に締め切りが来ると事務局の作業に進んでしまい、淡々と進んでしまうことが多い印象があります。そのため、委員会としてもう少し効率的な方法を検討していただければと思います。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。 (評価方法関係)	企画政策課	-	○	P92

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針（案）

通しNo.	発言	該当箇所	委員名	委員意見	分類	市の考え方・対応方針（案）	担当所管	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ
51	第1回会議	その他	奥	基準値が入っている場合とそうでない場合で目標達成率の数字の出方が異なるため、見え方が極端になるケースがあるように感じます。例えばですが、資料3の重点施策8ページ、施策2の「防災減災地域における国土強靱化の推進」では基準値がなく、目標値が100%ということの実績値の割合がそのまま目標達成率として出ています。一方、11ページの重点施策3「教育子育て」では基準値が78.5%となっており、そこから目標値100%までの差分を考慮するため、算定式が異なり目標達成率が低い数字として表示されています。このような算定方法について、基準値を設定した場合も含めて検討する必要があるかと思えます。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
52	第1回会議	その他	出石	目標達成率の計算式やその根拠については、次回以降の計画に向けてよく検討していく必要があると思います。例えば、備考欄や別枠で計算方法や背景を記載することを検討していただきたい。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
53	第1回会議	まちづくりの目標：全般	有賀	令和7年度からまちづくり目標の評価に目標達成率を加えたという点についてですが、総括部分では目標達成率の変動についてもう少し触れるべきではないか。全体を通して目標達成率についての記載は、もう少しわかりやすく工夫すべきだと思います。	意見	御意見を踏まえ総括の修正を行いました。	企画政策課	○	-	P2,3
54	第1回会議	施策12：働く場・働き方 詳細施策3	根岸	詳細施策3「新しい働き方の推進」に関して意見を申し上げます。この項目では、目標値が9,000人となっており、目標達成率が61%と記載されています。しかし、実際の運営の現状を考えると、この目標値がかなり高めに設定されているように感じている点があります。令和6年度の実績値が5,500人であり、そこから9,000人を目指すというのは、かなりストレッチの目標値ではないかと思われれます。この目標値に対して達成率を上げるためには、大型のイベントを積極的に開催するなどして、とにかく人を集める方向にシフトしていく必要があると思いますが、この施策の本来の目的は「質を重視した働き方の推進」であると考えます。そのため、単に人の数を増やすことに偏らない目標値の設定が必要ではないかと思えます。このような考え方に基いた指標の再検討をお願いできないかと思えます。評価の部分や今後の方向性について何らかの表現を盛り込んでいただければと思います。質を重視した働き方の推進についての視点が反映される形で進めていただきたいです。	意見	「新しい働き方の推進」につきましては、「質を重視した働き方の推進」が重要であることはもちろんですが、この取り組みが市内外の多くの方に知れ渡り、多くの方が関わることで、ビジネスマッチングやオープンイノベーションの創出の可能性が広がっていったため、事業開始時に設定した令和6年度の目標値を令和7年度目標値にも据えて、指標としているものです。ワークプレースマーケットにおける「新しい働き方の推進」については、利用者数のみならず、ビジネス相談やマッチング支援の件数や内容が重要であり、十分に注視しているところですので、3年間の総合評価の欄にも、「Work Place Market ARUYO ODAWARA」では、ビジネス相談、コミュニティ内外の交流会などにより、事業者の課題解決、業務拡大のきっかけが得られたり、ビジネス相談からのビジネスマッチングにより新たな事業が創出される事例が生まれています。」と記載しています。	産業政策課	-	-	-
55	第1回会議	その他	山本	KPIの目標設定は非常に難しいと感じております。よく議論を進める中で、例えば小田原市だけでなく他の自治体が行っている総合政策を参考にすることで目標を決めていただければと思います。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
56	第1回会議	その他	出石	今回ここで目標と取り組みの関係性について書いたのですが、これが容易ではないという点についても触れておく必要がある。KPIを立てることは行政運営において必要なことなのだろうと思います。まず、目標をどう立てるかというのは難しいですが、行政における指標としては非常に重要なものであると考えます。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
57	第1回会議	その他	関	今回の第6次総合計画において重要な点は、評価基準や評価内容をしっかりと明確化し、それを最終的にはアクションにつなげることです。PDCAサイクルを実現し、計画の実効性を担保することが重要だと考えます。	意見	第6次総合計画評価では、PDCAサイクルを回し効率的・効果的なまちづくりを推進しながら、政策の方向性を柔軟に見直ししていくため実施いたしました。評価作業の中で得られた課題や成果を踏まえ、今後も実効性を担保できるような評価の仕組みを検討して参ります。	企画政策課	-	○	P92
58	第1回会議	その他	関	第7次総合計画においては評価基準を反映した新たな指針を確立することを目指すべきです。具体的な評価や分析だけでなく、時代に即した柔軟な対応を組み込む必要があります。例えば、SDGsを基準とした評価指標を設定することも選択肢の一つです。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（評価方法関係）	企画政策課	-	○	P92
59	第1回会議	その他	関	社会の課題を迅速に解決し、変化に対応するためにフリーツールの考え方を取り入れることも重要です。このような観点から、新しい課題に対するスピードアップを図り、具体的な事業を進めることが必要ではないか。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（評価方法関係）	企画政策課	-	○	P92
60	第1回会議	その他	益田	市民目線で考えると、第6次でも第7次でも、小田原市が良くなり、市民の生活が良くなるのが重要だと感じます。計画が変更されるかどうかよりも、市民の生活に影響があるかどうかのポイントだと思います。計画の評価ばかりに目が行くのではなく、市民の生活を中心に考えていただきたいと思えます。	意見	総合計画の推進に係り、今一度市民目線での計画の推進に配慮して参ります。	企画政策課	-	○	P93
61	第1回会議	その他	内山	KPIで示された指標についてですが、例えば教育分野の場合、パフォーマンスの一端を示しているに過ぎず、それで全てを評価するのは適切ではないと感じています。その点を踏まえて総合評価をする際には、指標の数字のみで評価するのは少し違うのではないかと思います。	意見	第6次総合計画では、位置付けた指標とその実績値の把握とともに、実施した取組などの定性的な観点を踏まえた総合評価を実施し、指標の実績値のみでは把握できない取組の評価を行いました。第6次総合計画評価で得られた課題や成果を踏まえ、第7次総合計画第1期実行計画の策定に生かして参ります。	企画政策課	-	○	P93
62	第1回会議	その他	内山	KPIと取り組みの関係性について検討していただきたいと思えます。例えば、今後KPIを設定する際には、教育の場面では学校評価が毎年行われますが、この成果指標を出すのは難しいです。指標自体が取り組みと結びついた形で評価される方法をとっている場合もあります。そのため、成果だけで判断するのが難しい場合もあるので、成果指標としてのKPI以外にも、取り組み自体を評価する形で設定する可能性もあるのではないのでしょうか。	意見	第6次総合計画では、位置付けた指標とその実績値の把握とともに、実施した取組などの定性的な観点を踏まえた総合評価を実施し、指標の実績値のみでは把握できない取組の評価を行いました。第6次総合計画評価で得られた課題や成果を踏まえ、第7次総合計画第1期実行計画の策定に生かして参ります。	企画政策課	-	○	P93
63	第1回会議	その他	別所	計画の評価方法に関する事務局の整理、ありがとうございます。基本的にはこの考え方に賛成しております。KPIについては、先ほどの話にあったように見直しが必要だと考えています。KPIの設定が最も重要であり、難しい部分でもあると思っています。総合計画審議会に意見を聞く際には、特にKPIが適切かどうかを重点的に図っていただくことが良いのではないかと考えています。そこで多様な意見を聞きながら、適切なKPIが設定されているかどうかを判断することが重要だと思います。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
64	第1回会議	その他	別所	アンケート調査を数値として活用する手法は当然あり得ますが、アンケートには誤差率があるため、その微妙な誤差を評価軸としてしまうと、本質的な評価にはなりにくいです。例えば、評価レンジを設定するなどの工夫が必要かと思えます。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
65	第1回会議	その他	別所	KPIとKGIは異なるものです。それぞれの行動のパフォーマンスを評価するインデックスとして設定するべきであり、その結果として評価が生じるものだと思います。その点で混同を避けるための設定が求められます。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針（案）

通しNo.	発言	該当箇所	委員名	委員意見	分類	市の考え方・対応方針（案）	担当所管	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ
66	第1回会議 その他		別所	因果関係の中に小田原市が入り込めない指標をKPIに設定すると、達成が困難な目標を追い求めることになってしまうので、その点には注意が必要です。他の考慮要素が入り込む指標については、あらかじめ設定時点でコントロールする必要があると思います。夢を持つ小学生・中学生という目標設定に関してですが、理想として100とされていますが、現実には到達しえない可能性がります。その原因が小田原市の責任ではなく、日本という国の環境や世界における日本の位置づけといった外的要因によるものである場合も多いです。そういった点も考慮しながら、小田原市内でコントロール可能な範囲をKPIとして示すことが重要だと思います。そして、そのKPIを目指して進むことが小田原市民のためになると考えています。市民にとって施策の目的が明確になるようにKPIの説明を工夫していただければ幸いです。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
67	第1回会議 その他		出石	長期的な目線で見られない時代となっているため、KGIの設定は非常に難しいものです。その点について保険をかけながら進める必要があると感じています。企画の方向性として十分に調整をして進めていただければと思います。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（指標関係）	企画政策課	-	○	P93
68	第1回会議 その他		曾我	すべてを確認したいと思いつつも、膨大な情報量が出てくるため、自分が関わっている学校や地域の状況など、専門知識のある分野に重点を置いて確認しています。ただ、総合計画審議会としての意見として全てを見るのは難しい部分もあると感じています。その点についても議論が必要かと思っています。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（評価方法関係）	企画政策課	-	○	P92
69	第1回会議 その他		別所	全部を見るというのはやはり非常に難しいことです。基本的に私が見られる分野は、例えばデジタルや産業政策といったところを中心にせざるを得ないかと思いい、その範囲で見せていただいております。ただ、全部を見る機会があることは非常に意義深いと思います。他の部分も合わせて確認し、関連するところを探したりすることも可能でございます。先ほどお話にありましたように、例えば主に見られる部分が重なるようであれば分担を行い、この分野はどなたという形で進めていただけたら良いかと思いいます。また、資料はできるだけ全部を確認する機会があり、そのうえで意見を述べられるような形が、一番無理がなく、適切であると思っております。	意見	第7次総合計画第1期実行計画への御意見として参考にさせていただきます。（評価方法関係）	企画政策課	-	○	P92
70	質問書 まちづくりの目標：生活		宮本	小田原に住み続けたいと思う人の割合の目標達成率：94.6% 目標達成率は、重点施策の達成率などと異なる算出方法でしょうか。 方向性が上昇なので、基準値よりも実績が低ければ0%なのではないでしょうか。 (例)重点施策3の将来の夢を持つ児童生徒の割合(中学生)は0.0%	質問	ご指摘のとおりです。基準値が設定されている場合は、基準値を超えない限り目標達成率は0%から上の数値に上がりません。資料を修正させていただきます。（まちづくりの目標：環境の目標（KPI）である「二酸化炭素排出量の削減率」も同様に修正いたします。）	企画政策課	○	-	P2
71	質問書 まちづくりの目標：生活		宮本	総括の記載ぶりについて（意見に近い） 「教員研修やICT支援員派遣を行い、負担軽減とスキル向上を図った」ことが取組結果として総括されているようですが、目標と取組がずれていないでしょうか。「教員研修やICT支援員派遣を行い、教員の負担軽減とスキル向上を図りながら、生徒の学習用端末の活用を推進し、個別最適な学びと協同的な学びを充実させてきた」の方がよいのではないのでしょうか。	質問	ご指摘のとおり修正いたします。	企画政策課	○	-	P2
72	質問書 まちづくりの目標：環境		宮本	まちづくりの目標に、「グリーンインフラの取組も推進し」とありますが、総括にグリーンインフラの取組として記載できるものはないのでしょうか。	質問	水源環境の保全や再生など多面的機能を有する森林整備に係る取組を実施しておりますので追記いたします。	企画政策課	○	-	P3
73	質問書 重点1：医療・福祉		宮本	(1) 安心の地域医療体制 二次救急の自己完結率は今後、県から数値が公表される見込みはあるのでしょうか。	質問	現時点で公表の見込みはありません。	健康づくり課	-	-	-
74	質問書 重点1：医療・福祉		宮本	(3) 健康寿命の延伸 神奈川県健康プランでは、令和元年の健康寿命が男性73.15、女性74.97歳となっていて、小田原市の平成30年度最新値とかなり乖離があるのですが、算出の方法が異なるのでしょうか。	質問	健康寿命の算出方法は、都道府県と市町村では算出に使用する基礎データが異なっているものと認識しています。本市では、「平成24年度厚生労働科学研究」に基づき、市の介護保険情報から算出しており、「健康寿命の算定方法の指針」に基づく「日常生活動作が自立している期間の平均」を用いています。	健康づくり課	-	-	-
75	質問書 重点2：防災・減災		宮本	(2) 地域防災力の強化 訓練等を通じて、防災意識が向上したと回答した割合は、「訓練には参加したが、6割近くの人が向上したと感じなかった」と捉えればよいのでしょうか。それとも訓練に参加していない人も含まれているのでしょうか。	質問	令和6年度小田原市市民意識調査（市民アンケート）での、「防災訓練に参加した際に感じたこと」という問いに対する回答ですので、訓練不参加の方は含まれておりません。	防災対策課	-	-	-
76	質問書 重点7：まちづくり		宮本	(1) 駅・駅周辺のまちづくり 商業地における地価の目標達成率105.6%ですが、他の達成率はMax100%で記載されていますが、整合はとれているのでしょうか。	質問	当該指標は、基準値である平成30年の商業地の地価平均36万円/m ² を維持することを目指したものです。しかし、計算式の設定により、達成率が100%を超えて表示されました。ご指摘を受け、達成率を100%に修正させていただきます。	都市政策課	○	-	P29
77	質問書 重点7：まちづくり		宮本	(2) 地域特性を生かしたまちづくり 目標95%となっていますが、R6：94.6%で達成率100%となっているのはなぜでしょうか。	質問	基準値≒96%の誤差±3%の93.1~98.8%を目標値としており、この範囲内または超える場合に達成率100%となります。	企画政策課	-	-	-
78	質問書 施策7：防災・減災		宮本	(1) 災害被害軽減の推進 危険なブロック塀の撤去が進めば、対象箇所が減り、申請件数も自ずと少なくなると思いますが、さらなる周知が必要とのこと。そもそも、危険な箇所は全体で何箇所あって、あとの程度残っていて促進が必要と考えているのでしょうか。	質問	市内の危険なブロック塀の箇所数については調査を行っていないため正確な数値は不明です。職員による目視になりますが、現状でも相当数の危険箇所があると考えております。	防災対策課	-	-	-
79	質問書 推1：行政運営		宮本	(4) 人材の確保・育成・活用 女性職員の管理監督者への昇任希望率の上昇を目標にされていますが、希望率のデータを取られているということ、管理職試験を導入されているのでしょうか。それとも意向調査を行っているのでしょうか。また、希望率はかなり高いと思いますが、実際の登用率はどの程度なのでしょうか。なお、神奈川県登用率は、知事部局で23.9%となっています。	質問	昇任希望率は、キャリアデザイン面談において使用するキャリアデザインシートにより意向調査を行っています。登用率は令和6年4月1日時点で理事・部長・副部長級9.1%、課長級13.3%、副課長級18.0%、係長級21.8%（いずれも医療職は除く）です。	職員課	-	-	-
80	質問書 その他		奥	①の目標値（KPI）と取組の関係性に関する説明文の意味するところが不明→「目標は取組の成果として適切であったか」「目標値の多寡は適切であったか」とは、すなわち、「目標値は取組の進捗を把握する指標として適切であったか」「設定されている目標値は適切であったか」という意味か？	質問	ご見解のとおりです。内部評価にあたっては、記載要領を設置し記載例を示しながら所管課が評価作業を行ったことから、説明文に対する大きな認識のずれは生じなかったと考えております。	企画政策課	-	-	-

総合計画審議会委員からの意見に対する市の対応方針（案）

資料2

通しNo.	発言	該当箇所	委員名	委員意見	分類	市の考え方・対応方針（案）	担当所管	内部評価修正	総計審意見	掲載ページ
81	質問書	重点：全般	奥	重点施策を構成する具体のアクションごとに「目標達成率の評価」の欄があるが、施策の目標（KPI）達成率は個別のアクションごとに評価できるものではない。このため、具体のアクションごとに記載されている「目標達成率の評価」の内容が、単に具体のアクションの評価にとどまり、同アクションの目標達成率への貢献を説明するものとはなっていない場合や、同一の重点施策を構成するすべての具体のアクションについて同じ内容が「目標達成率の評価」欄に記載されている。こうした記載の仕方についてどのように考えるのか？	質問	「目標達成率の評価」の欄については、具体のアクションにおける3年間の取組内容を踏まえ、目標達成率を補完する内容（目標に対してどのように寄与しているか）を定性的に記載するとともに、具体のアクションの進捗を測る上で定量的な数値や傾向があればできる限り記載するよう、内部評価における記載要領で示し所管課が評価作業を行いました。 これは、重点施策の目標（KPI）に対し、各具体のアクションがどのように寄与したかを意識し評価を行うことを目的としたものですが、ご指摘のとおり、目標（KPI）と具体のアクションの関係が直接的な因果関係にないものがある一方で、各具体のアクションによる成果が掲げた目標に集約される場合には、同じ内容が記載される結果となりました。 目標設定と具体のアクション・施策の因果関係については、本総合計画評価を通じた課題と捉えており、第1回会議にてその振り返りを行い、次期実行計画策定時の検討事項とさせていただきますと考えております。	企画政策課	-	-	-